

製品名: CLIC6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09042**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 75kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CLIC6 |
| 別名 | CLIC6; CLIC1L; Chloride intracellular channel protein 6; Parchorin |
| 遺伝子 ID | 54102.0 |
| SwissProt ID | Q96NY7 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト CLIC6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460 |

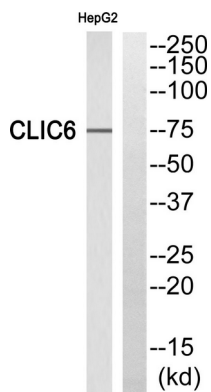
背景

塩化物イオンチャンネル6 (CLIC6) ホモサピエンス この遺伝子は、塩化物イオンチャンネルファミリータンパク質のメンバーをコードしています。この遺伝子は、1番染色体、6番染色体、および21番染色体に存在する大きな三重領域の一部です。選択的スプライシン

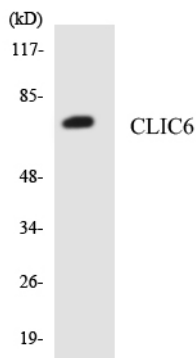
グにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年11月],ドメイン: このファミリーのメンバーは、球状の可溶性状態から、N末端ドメインが膜に挿入され塩化物イオンチャンネルとして機能する状態に変化することがあります。N末端ドメインの構造変化により、疎水性表面が露出し、膜への挿入が引き起こされると考えられています。機能: 膜に挿入され、塩化物イオンチャンネルを形成する可能性があります。水分泌細胞において、おそらく塩化物イオン輸送の調節を介して重要な役割を果たすと考えられる。PTM: リン酸化されている。類似性: 塩化物チャンネル CLICファミリーに属する。類似性: 1つのGST C末端ドメインを含む。細胞内局在: 主に細胞質内に存在する。細胞から塩化物イオンが流出すると、細胞膜へ移行する。サブユニット: ドーパミン受容体 DRD2、DRD3、および DRD4 と相互作用する。組織特異性: 脳、胎盤、脾臓、肝臓で発現する。、

研究分野

画像データ



CLIC6 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは CLIC6 ペプチドでブロッキングされている。



CLIC6 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。